

瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針（素案） 〈暫定版〉

【平成26年12月】

浜田市

山陰経済経営研究所・エブリプラン共同事業体

目次

埋立地活用に関する基本的な考え方	1
瀬戸ヶ島埋立地に期待される役割	2
プロジェクトの意義	3
コンセプト開発の考え方	4
コンセプト	6
コンセプトの到達イメージ	7
コンセプトの展開方法	8
新しい港文化が生まれる島としての瀬戸ヶ島の位置づけ	9
ゾーニング	10
配置計画	11
ゾーン1 島のスクエア	13
ゾーン2 島のフロント	17
ゾーン3 島のパーク	21

埋立地活用に関する基本的な考え方

1

「部分最適」から
「全体最適」へ



産業振興

水産業を中心とした産業振興

- ①漁業の高度化・高付加価値化の推進、
- ②食の魅力づくりを通じた水産業を中心とした高付加価値化、③地域産品の利用

観光振興

地域の観光資源をつなぎ、 滞在型観光へ転換する“装置”の整備

- ①滞在型観光拠点の整備、②周辺観光施設をつなぐ仕掛けとストーリーづくり、
- ③おもてなしの担い手の確保と育成

教育文化

ふるさとの伝統や文化を守り、 次世代に引き継ぐための場づくり

- ①漁業体験を通じた水産業の担い手の育成、②地域に息づく文化・伝統の継承
- ③多様な世代間の交流と学習機会の場づくり

✓ 浜田市が有する価値を掘り下げ、
全国に発信するための機会

✓ 浜田市が育んできた価値を、
未来につなげるための第一歩



（結果としての）

✓ 対外的な認知・共感の獲得、
交流人口の拡大、経済効果の獲得

これまでの研究会の論点は、大きく3つ。
これらをもとに、コンセプトを開発。

ポイント①

浜田固有の価値 海

食・産業・観光。海を中心とした生活と文化。
わざわざ人が浜田にくるのは、
海を堪能したいから。
海隣接という立地を鑑みても、山や里ではなく、
徹底的に海を楽しむ場である必要がある。

ポイント②

産業・文化の 継承・進化

これまでのやり方を守るだけでなく、
この場所、この時代にあるべき新しい姿へと、
産業も、文化も進化させていくことが、
次世代につなぐための
重要な要素となる。

ポイント③

人（地元・県外）が集まる 他にない場

県外から人が来る、
取材・視察が絶えない場所になるためには、
周辺の施設や市町村で代替可能な、
これまでと類似のものをここに作るのではなく、
これまでになく体験・物を提供する必要がある。

コンセプト（※次ページ）

浜田という町をつくってきた大切な要素の一つが他にない浜田の「海」です。

あまりにも日常にとけ込みすぎていて、
それを「宝」や「誇り」として改めて気づく場所がないように思います。

同時に、これからの町の未来も、海と共に歩む意思を共有することが
大切だという声があります。

ここで暮らす私たちがこの土地を愛し誇りをもつことの延長上にしか、
市外の人達の関心を喚起できるものは作れない。

言い換えるなら、外向きの観光施設の建設だけでは、
そこに造る、そこに在ることの意義は大きくありません。

私たちの日常と未来をこの場所に表現し、作り出すことがこの事業の目的です。

それを果たすことができれば、
結果的に、もっと地域を知りたい、滞在したい、モノを買いたいという
産業振興につながる行為を生むことになるでしょう。

**私たちはここを、今ある港と共に、
地域の新しい文化・産業を生み出し続ける
交易の場にしないでなりません。**

新しい港文化が生まれる島

地域の人也不知道な地域資源の新たな魅力や楽しみ方を体験できる場所へ

人と人、人と自然、世代と世代がつながる場所へ

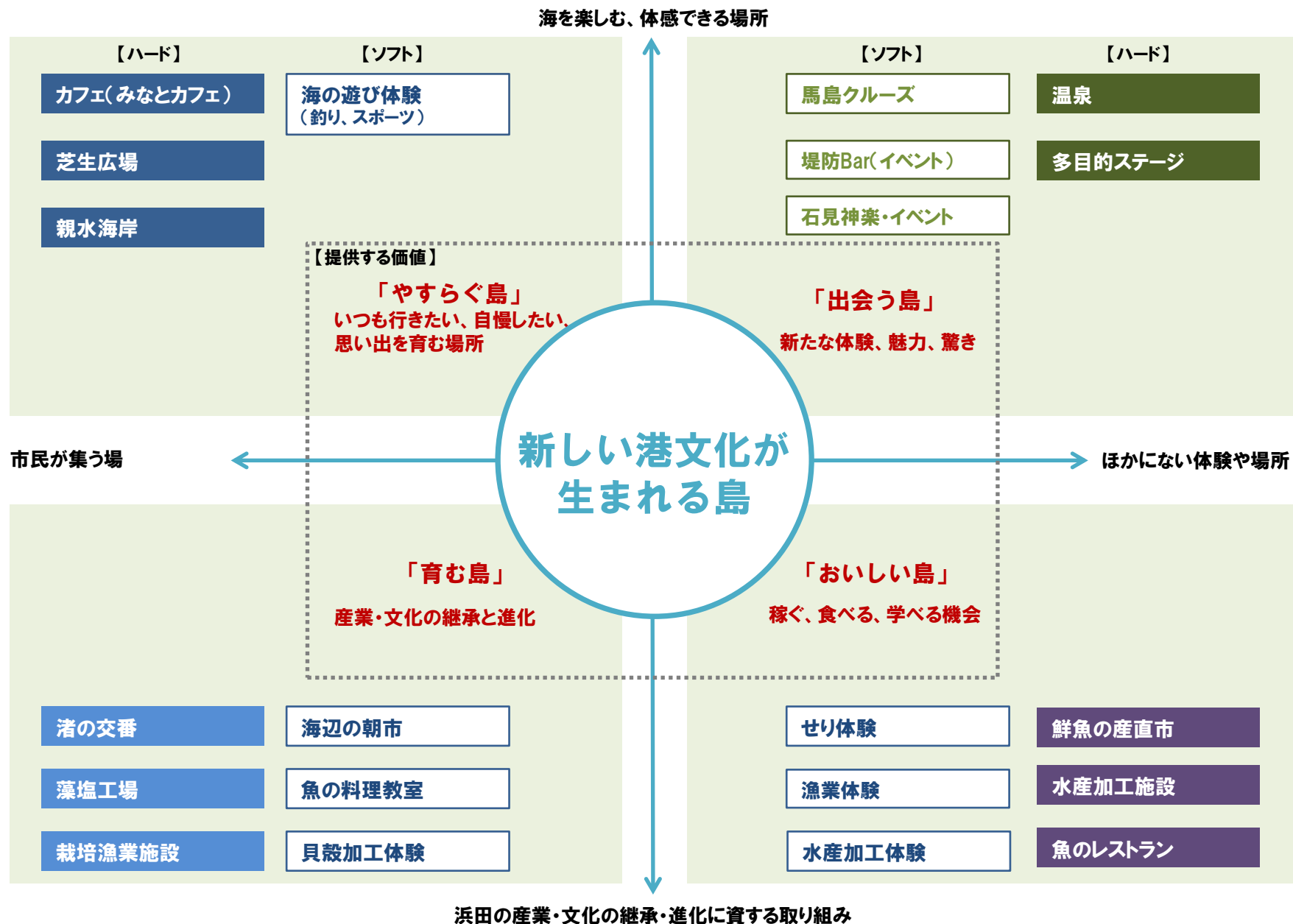
市民の誇りを育み、伝える場所へ

生活の中心としての 港文化の創造へ

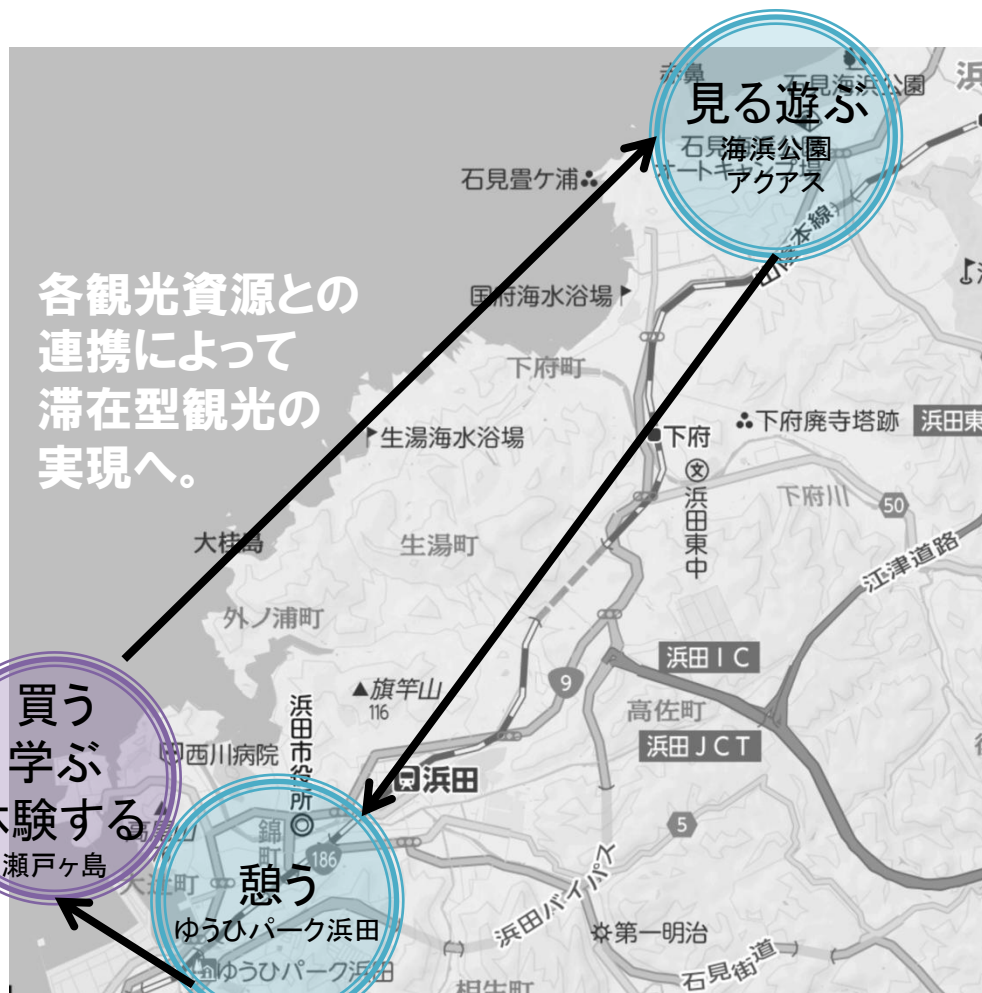
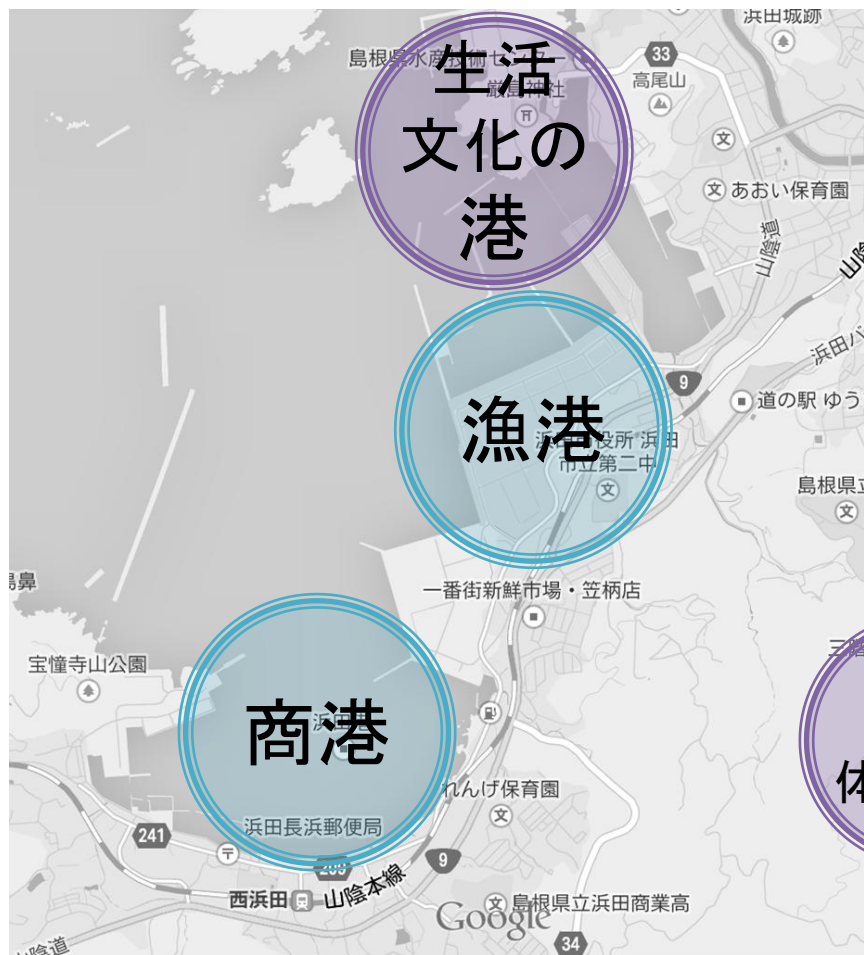
**そのために官民の力を結集し、
ハードよりソフトの取り組みを重視し、
持続可能な事業展開を目指す。**

コンセプトの展開方向

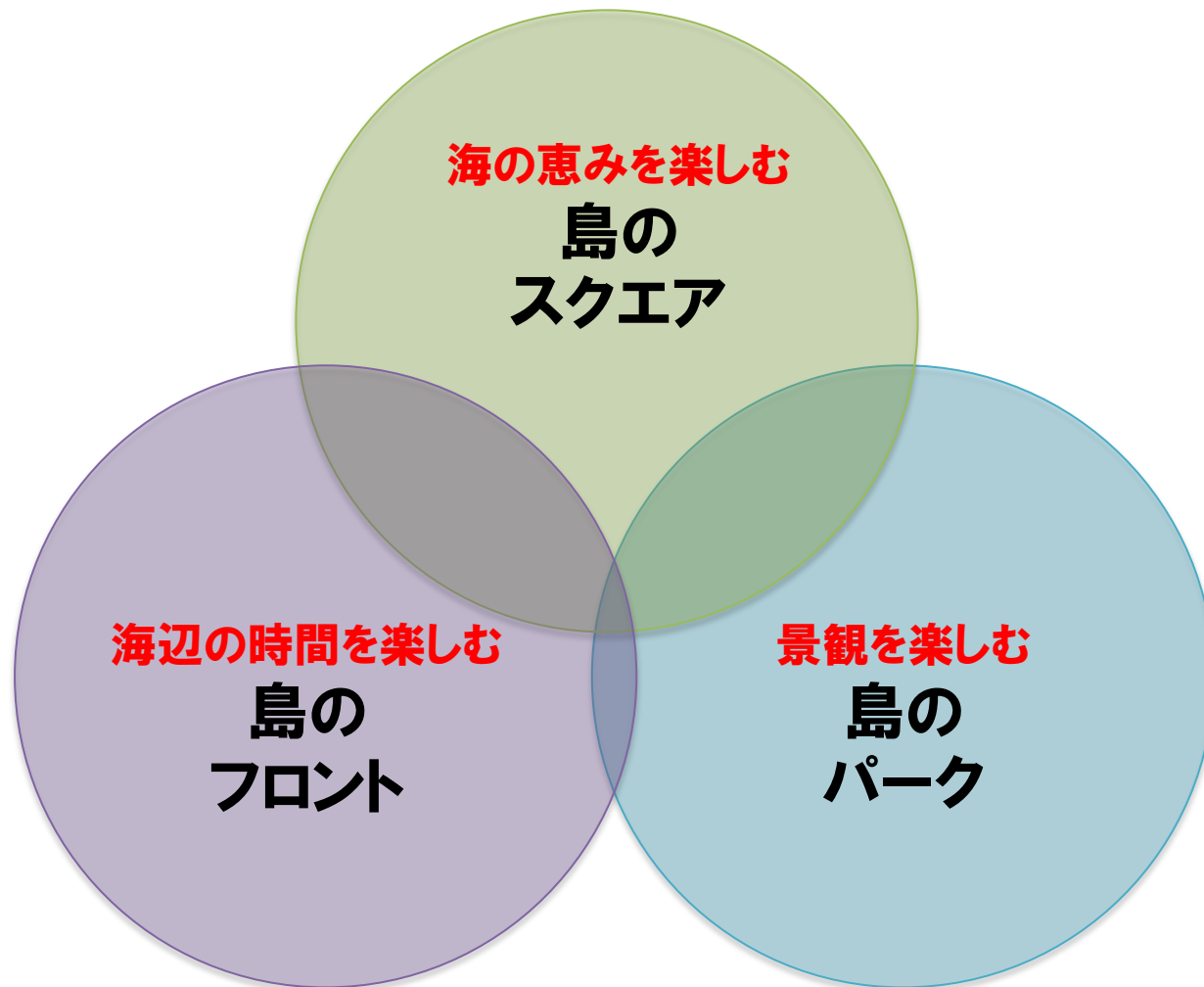
8

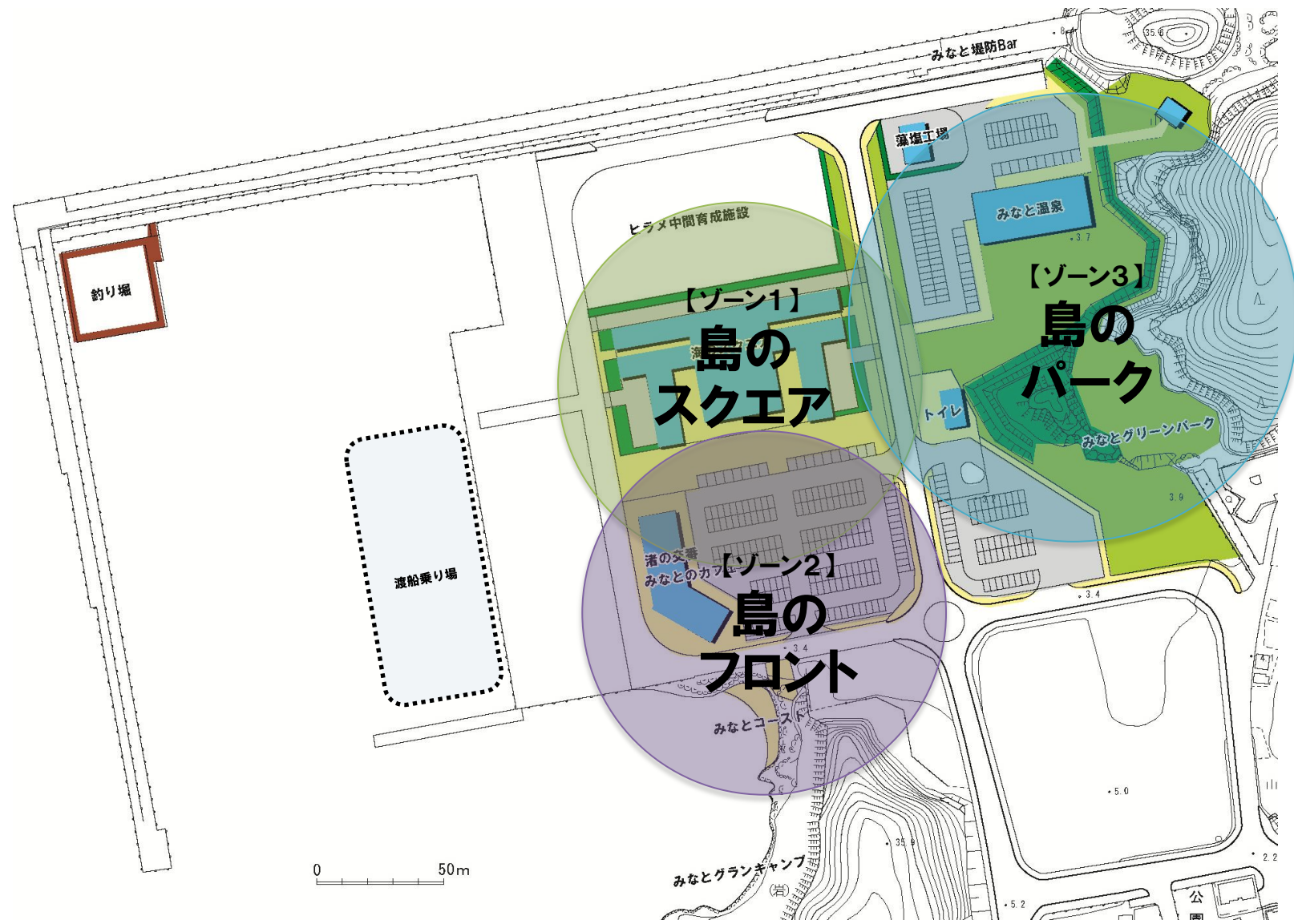


既存の港（漁港・商港）に対し、人が集う生活文化の場としての港へ。
沿岸部の集客拠点施設と機能を補完し合うことで、
滞在型観光を実現する場所へ。

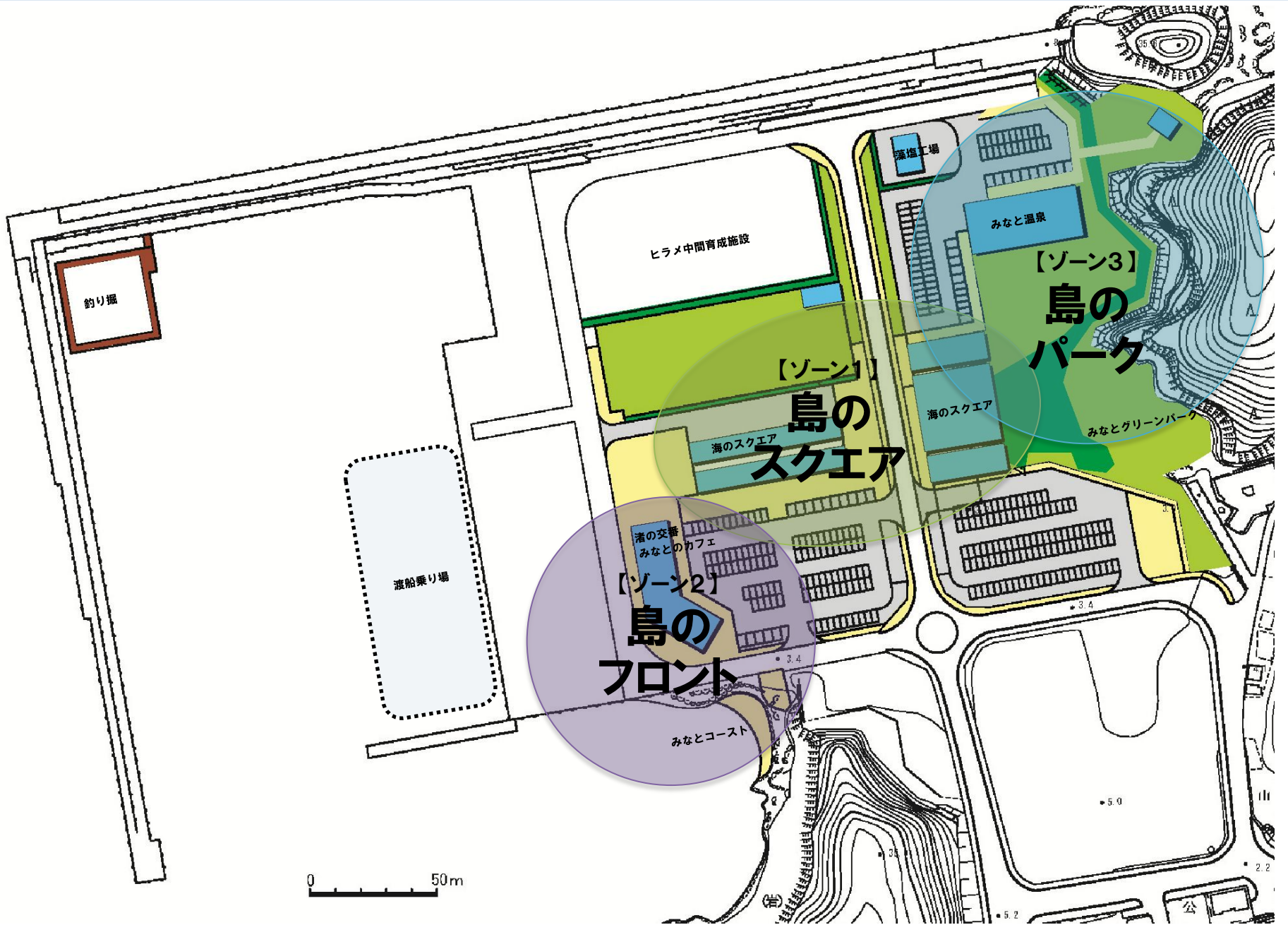


「新しい港文化が生まれる島」は、
3つの場所から構成されます。





施設配置計画（案2）



ここは、浜田の海の恵みを堪能する場。

海に向かった大きな開口と、真ん中に大きな広場のある、海にとけ込むスクエア。
屋根にはソーラーパネルを配し、自然エネルギーを効果的に取り込む。

両サイドにあるのは、海がよく見えて、とれたての魚をいろんな調理方法で楽しめる食堂、ココならではの体験を提供する教室や、チャレンジショップ。

広場や中央の通りでは、週末になると、穫れたての魚や野菜が立ち並んで、
生産者の人と直接話しながら買い物ができる。

買って、お店にもって行って、調理してもらったり、そのままパークでBBQしたりするのも楽しい。夕方になると、沈む夕日を背景に神楽が始まる。

海を感じ、お酒やご飯を楽しみながらみる神楽は、神社とはまた違った趣きがある。



①みなと直売所

浜田漁港で水揚げされた新鮮な魚介類を安価に購入することができる直売所を整備。

加えて、赤天、ロールイカ、カレイの一夜干しなど、市内で水産加工業を営む事業者への呼びかけ、水産加工のモデル施設を設置。生産過程の見える化、体験受け入れ等を通じて、ファンづくりに取り組む。



②みなと食堂

直売所やセリ・漁業体験でお客様が買った魚やとれたての魚を、その場で料理し提供する食堂を整備。

生簀に泳ぐ魚、市場のような活気、自分でとった地元の魚、それをさばく現場を見る、最高のロケーションでそれを味わうことができる、特別な体験ができる場所。



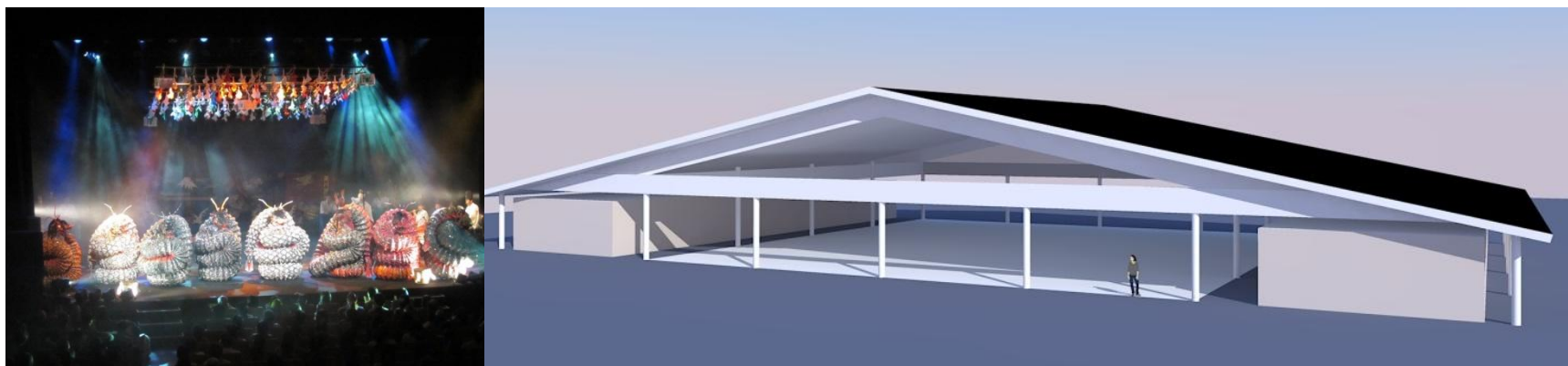
③みなと朝市

浜田市で生産される新鮮で、豊かな農林水産物やそれらを素材とする加工品、料理などを生産者自らが販売する場。多様な市民の参加を促し、瀬戸ヶ島を盛り上げる人づくりの場とする。



④みなとステージ

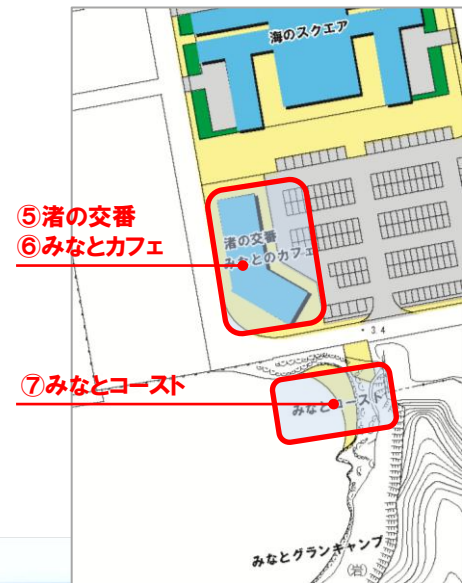
大屋根の下に多目的ステージを整備し、市民・観光客等が石見神楽を楽しむことができる環境を整備。また、海上ステージ、馬島を舞台とした石見神楽上演等の検討。ここでしか味わえない賑わいの場を演出。



ここは、海辺の時間を楽しむ場。

海に向かって広がる気持ちのいいウッドデッキと、港にほど近いカフェ、
いろいろな海体験プログラムの発着場があるのが、新しい港フロント。
カフェは海と一体となり、雑誌に出ていそうなくらい素敵なたたずまい。
カヤックで、海に出たり、テラスで本を読んだり、海の横のウッドデッキに座っ
て夕日をみたり。

浜田にはなかった新しい海との楽しみ方を体験でき、
海と一体となった贅沢な時間を過ごすことができるのがこの場所だ。



⑤渚の交番

海の安全・安心づくりの拠点施設として、以下の機能を具備した「渚の交番」を整備。

カフェと交番の前にはウッドデッキが敷かれていて、海の横の散歩を楽しむこともできる。ここを拠点に、海を楽しむ様々なプログラムを提供(後述)。

・釣船、渡船の案内機能・休憩所
・簡易シャワー施設

・漁業体験、マリンスポーツ体験拠点
・調理施設

・釣堀の管理
・貝殻アクセサリーの加工・販売施設

みなと学校(体験プログラム)

産業・観光・文化・生活など浜田のあらゆる資源を体験できる場所。

市内で活躍する個人・団体と一緒に、料理教室、藻塩づくり体験、貝殻アクセサリーづくり等の各種体験の場として活用。

海に関する活動の拠点として整備する。

体験プログラム案

みなと学校(1)

浜田の海を楽しみ尽くす、ここでしかできないたくさんの体験ができるのがみなと学校。
子供からシニアまで、年中いつきても、何度きても、楽しむことができる。



浜田の漁業体験(年中)

季節ごとに変わる魚の種類やいろんな漁法を、漁師さんの説明を受けながら学んで、実際に体験してみよう！



藻塩づくり体験(年中)

浜田の海水を使って、藻塩作り。
自分で作ったできたての藻塩で
おにぎりを作ってみんなで食べよう。



せり体験(年中)

プロに混じって、魚のせりを体験しよう。
競り落とした魚は、持って帰ってもよし、食堂で調理してもらってその場で食べてもよし。

体験プログラム案

みなと学校(2)



浜田の魚料理体験(年中)

とれたての新鮮な魚を使って、漁師さんや地元のお母さん、職人さんに習って、浜田ならではの魚料理を作ってみよう。



貝殻デザイン体験(年中)

アワビの貝殻を使って、自分でデザインしたアクセサリや小物を作ってみよう。



うみの遊び体験(春～秋)

シュノーケリング、サーフボード、スタンダップパドル、シーカヤック。いろいろな道具を使って海を遊び尽くそう。



馬島サンセット海 ドライブツアー(年中)

ボートやスタンダップパドルに乗って、馬島で夕日を見てみよう。



無人島サバイバル キャンプ体験(春～秋)

船に乗って無人島(馬島)にアクセス。釣りやたき火をしながらサバイバルキャンプを楽しもう。



魚釣り体験(年中)

陸で磯釣り、船に乗って沖釣り、季節や場所によって変わる魚介の釣りを楽しもう。釣った魚は調理してもらってその場で味わってもよし。



海辺ヨガ体験(春～秋)

天気のいい日は、海の音を聞いてリラックスしながら、ヨガを楽しもう。

⑥みなとカフェ

美しい海岸線、夕日など、当地固有の景観資源を楽しむための装置。
海辺で、オシャレに、のんびりと時間を過ごすことが出来る飲食店を求める市民ニーズへ対応。



⑦みなとコースト

瀬戸ヶ島南側に残る昔ながらの良好な海岸線と美しい海面へ誰もが安全にアクセスでき、楽しむことができる場所。磯遊びや憩いの場として利用。



ここは、浜田の景観を堪能する場

潮風、波の音、時間で変わる空と雲。浜田の生活の中心である海を、ゆっくりと楽しむことができるのが新しい港パーク。

ここにあるのは絶景温泉と、海にせりだしたBAR。足下に広がる芝生では子供が寝転がったり、家族で、スクエアで買ってきた食材を使ってBBQをしたり、欧米のように外でただゆっくりする時間を楽しんでいる。

地元の人にもみたことのない絶景と、体験したことのない楽しみ方ができるこの場所は、地元から、全国からこぞって人が訪れる、人気のスポットだ。



⑧みなと堤防BAR (イベント展開)

海と景色を、最も近いところでみることができるBAR。
地域の人も知らなかった港の楽しみ方提案で、
近隣・広域から、幅広い年齢層の集客を実現。



⑨みなと絶景温泉

北側の防波堤を越え、雄大な日本海、
空と溶け合う水平線を一望できる
絶景の日帰り温泉施設。



⑩みなとグリーンパーク

地域の子ども達、家族連れがのんびりと自由に過
ごすことが出来る場所。
夏はキャンプサイト、BBQ場としても利用可。

